

2023 ジャパンパラ水泳競技大会 開催要項
15 参加資格・制限【別表】

日本パラ水泳連盟（以下「パラ水連」）登録者

- 1 2023 年度パラ水連に選手登録をしている者
- 2 次の競技会のいずれかにおいて、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」（以下「標準記録」）に示す標準記録に達している者
※こちらからでも確認することができる。<https://info.paraswim.jp/db/>
 - 2022 年度
 - 第 32 回東北身体障がい者水泳選手権大会
 - 第 29 回中部障がい者水泳選手権大会
 - 第 33 回近畿身体障がい者水泳選手権大会
 - 第 28 回中国四国身体障害者水泳選手権大会
 - 第 33 回九州障がい者水泳選手権大会
 - 第 1 回インクルーシブ水泳競技大会
 - 2022 年度に開催された通信記録会
 - 2022 年度に開催された WPS 公認大会
 - 2023 年度
 - 第 33 回東北身体障がい者水泳選手権大会
 - 第 30 回中部障がい者水泳選手権大会
 - 第 34 回近畿身体障がい者水泳選手権大会
 - 第 29 回中国四国身体障害者水泳選手権大会
 - 第 34 回九州障がい者水泳選手権大会
 - 神戸市民選手権大会
 - 2023 東日本パラ水泳選手権大会
 - 2023 年度に開催された WPS 公認大会
- 3 聴覚障がい者を除き、WPS の規則に基づくクラス分けが済まされ、「C」、「R 西暦」、「R」、「J」、「JR 西暦」、「JR」のステイタスであること。「L」、「LR」、「L 西暦」のステイタスの選手は、クラス分けを受けなければ競技には参加できない。クラス分けを受ける選手は別途パラ水連の HP を確認すること。枠があれば肢体不自由で JR2023 以前の選手は経過順に受検する。この対象者にはエントリー締め切り後、パラ水連より連絡をする。
- 4 別紙標準記録を達成した種目のみ、5 種目までエントリー可能とする。ただし、パラ水連強化指定選手、育成選手は、1 種目で別紙標準記録を達成していれば、7 種目までエントリー可能とする。なお、傷病又は不測の事態等の正当な理由がなく棄権することは認められない。
- 5 パラ水連から推薦を受け、主催者が認めた者

以上